



Mt.FUJI 100

Mt. FUJI100

2024 年大会運営計画書

(案)

Ver. 7.0

2023 年 10 月 12 日

Mt. FUJI100 実行委員会

I. 大会概要

1. 大会開催要項

大会名 Mt.FUJI100 2024 /マウントフジ 100(ヒャク) ニセンニジュウヨン(第12回目)
ワールドトレイルメジャーズの加盟大会として開催予定(*11/8 情報解禁予定)



過去 UTWT(ウルトラトレイルワールドツアー) に加盟していた有名大会を中心に5大会をサーキットする国際トレイルランニングレースツアー。本大会はボードメンバーとして参加。2024年からのスタートを予定。

加盟大会(予定)

Vibram Hong Kong 100 (中国香港 1月開催 1種目 1,800名)
Transgrancanaria(スペインカナリア諸島 2月開催 7種目 3,500名)*TNFが冠スポンサー
Madeira Island Ultra-Trail®(ポルトガルマデイラ島 4月開催 5種目 2,950名)
Mt.FUJI100(日本 4月開催 2種目 3,200名)
Ultra-trail Cape Town(南アフリカ共和国 11月開催 2,550名)

開催日 2024年4月26日(金)~27日(土) 2日間
受付日 2024年4月24日(水)13:00~20:00 FUJI100mi *事前予約制
25日(木)09:00~20:00 FUJI100mi *事前予約制
2024年4月26日(金)13:00~20:00 KAI70k

競技種目

①FUJI100mi(フジ100マイル)

- ・距離:約166.6km 累積標高:+7,039m
- ・スタート会場:富士山こどもの国(静岡県富士市)
- ・フィニッシュ会場:富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)
- ・スタート時刻
- 第1ウェーブ:4月26日(金)0時00分 600名(※45時間00分制限)
- 第2ウェーブ:4月26日(金)0時10分 600名(※44時間50分制限)
- 第3ウェーブ:4月26日(金)0時20分 600名(※44時間40分制限)
- 第4ウェーブ:4月26日(金)0時30分 600名(※44時間30分制限)

- ・最終制限時刻:4月27日(土)21時00分(*44時間30分制限)
- ・募集人数:2,400名(優先エントリー・一般エントリー・寄付エントリー含む)
- ・サポート:500名

②KAI70k(カイ70k)

- ・距離:約69.4km 累積標高:+3,493m
- ・スタート・フィニッシュ会場:富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)
- ・スタート時刻:4月27日(土)00時00分 (*21時間00分制限)
- ・最終制限時刻:4月27日(土)21時00分
- ・募集人数:800名(一般エントリー・寄付エントリー含む)

参加資格

- ・大会当日に 18 歳以上の男女で、コースを迷うことなく制限時間内に完走できること。
 - ・一般エントリー開始日の 2 年前(2021 年 11 月 1 日)から前日(2023 年 10 月 31 日)までの間に、国際トレイルランニング協会(ITRA)がポイントを認定しているレースに出場・完走し、下記の規定ポイントを獲得すること。
- ただし最低1レースはエントリー開始日の 1 年前(2022 年 11 月 1 日)から前日(2023 年 10 月 31 日)までに開催されるレースとする。

・FUJI100mi:最大 3 レースで 10 ポイント以上*

・KAI70k :最大 2 レースで 3 ポイント以上*

*「Virtual UTMF2021」、「Virtual FUJI,KAI2023」完走者の獲得したポイントは参加資格要件を満たすことといたします。

参加条件

1. レースの距離と、山岳地を一昼夜以上走り続けるという特殊性を十分認識し、必要な訓練を行っていること。
2. この種のレースで起こりうる問題に対して、自ら対処できる能力を有していること。
3. 山岳地で予測されるトラブルや天候の悪化など(低温、強風、雨や雪)に、他に頼ることなく自ら対処できること。
4. 極限的な疲労、内臓・消化器官の不具合、筋肉などの痛み、軽度のけがが引き起こす肉体的、精神的問題に対して自ら対処できること。
5. 1)から4)の問題については自らが克服することであり、大会組織が責任を負うものではないと十分認識していること。
6. 自然の中での活動において安全にかかわる問題に直面した場合、自らがそれぞれの能力に依って対応しなければならないことを十分認識していること。
7. 大会出場中の選手の映像、写真、記事、記録などのテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどへの掲載権は主催者に属するものとします。

大会中止・ 中断・変更の コースの基準

下記の理由により主催者が大会の開催、継続が困難であると判断した場合は、大会を中止または中断いたします。大会開催日を翌週などに延期することはありません。(*バーチャルレースにできないか検討中/中止した場合の返金基準は検討中)

1. 気象警報発令時
2. コース途中の崖崩れ、落石など、選手とスタッフの安全を確保できないと判断されるとき。
3. 災害時。東海地震予知情報/警戒宣言、東海地震注意情報/発令時など。
4. 荒天下などで選手通過によって自然環境を損なう可能性があるとき。
5. その他、主催者が中止すべきだと判断したとき。
6. 大会中止・中断の判断は大会開催日または前日までに大会公式サイトおよび専用サイト(PC、携帯)で発表します。スタート当日に発表する場合は、選手それぞれの登録された携帯電話番号に SMS でも配信します。

エントリー期間

・優先エントリー*

2023 年 10 月 23 日(月)12 時～11 月 19 日(日)23 時 59 分 エントリー期間

2023 年 10 月 23 日(月)～11 月 19 日(日)23 時 59 分 入金期間

*ウルトラトレイルマウントフジ 2023 総合 100 位以内の方が対象。

該当選手には事前に大会事務局より申し込み URL を送付いたします。

・一般エントリー*/寄付エントリー*

2023 年 11 月 1 日(水)12 時～11 月 19 日(日)23 時 59 分 エントリー期間

2023 年 12 月 5 日(火)当選発表

<取り扱い注意:関係者以外閲覧・配布禁止>

2023 年 12 月 5 日(火)～12 月 19 日(火)23 時 59 分 入金期間

*1 寄付エントリーは先着制

*2 一般エントリーは募集定員を超えた場合は抽選

・私的サポーター(FUJI100mi) *

2024 年 1 月 9 日(火)～1 月 16 日(火)エントリー期間

2024 年 1 月 22 日(月) 当選発表

2024 年 1 月 22 日(月)～28 日(日) 入金期間

*募集定員を超えた場合は抽選

・大会一般ボランティア

2023 年 12 月 20 日(水)～12 月 31 日(日) エントリー期間

2024 年 1 月 22 日(月) 発表

参加費

①FUJI100mi

・一般エントリー(国内・海外 2,300 人) 45,000 円(消費税込)

・寄付エントリー(100 人) 100,000 円(消費税込/寄付金 55,000 円+参加費 45,000 円)

・サポーター(500 名) 3,000 円(駐車券,サポートバッグ費込)

*希望者は駐車券販売。事前予約制(富士急ハイランドコニファーフォレスト・富士山パーキング)

25 日,26 日,27 日共有¥3,000-(エントリー時に販売)

*エントリー時間も事前予約制(エントリー時に希望時間記入)

*手荷物預かりは別途 1,500 円-(当日まで販売)

②KAI70k

一般エントリー(国内・海外:740 名) 29,000 円(消費税込)

寄付エントリー(60 人) 80,000 円(消費税込/寄付金 51,000 円+参加費 29,000 円)

*希望者は駐車券販売(富士急ハイランドコニファーフォレスト・富士山パーキング)

26 日,27 日共通¥2,000-(エントリー時に販売)

*手荷物預かりは別途 1,000 円-(当日まで販売)

*寄付エントリー参加資格

一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート の環境事業に使う事を目的にした寄付金をしていただける方で、参加資格を満たす当大会へ参加希望の方。

<注意事項>

・寄付金については税制控除の対象になりませんのでご注意ください。

・寄付エントリーを頂いた方の寄付金及び参加費には入金手数料は発生しません。

過去の活動については以下を参照ください。

<https://fuji-trailrunnersclub.com/environmental/>

開催場所

富士山麓(静岡県富士市、富士宮市、山梨県身延町、鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、山中湖村)

＜取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止＞

主 催	Mt.FUJI100 実行委員会 ＜構成団体＞ ・一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート ・マウントフジ共同事業体(株式会社ソトエ,リージョンポート合同会社,株式会社アールビーズ) *一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート 富士・箱根・伊豆国立公園をエリアにトレイルランニングレースに関わるコース整備やボランティア活動を支援する事を目的としては社団法人を設立予定。代表理事鎬木毅氏予定。 今まで NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部に集約してきた寄付エントリー等の費用を一元管理し、NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部も含めた富士箱根伊豆地域のトレイルランニングレースに関わるボランティア活動(主にコース整備を想定)を支援予定。
共 催	富士市、富士宮市、身延町、鳴沢村、富士河口湖町、富士吉田市、忍野村、山中湖村、御殿場市、裾野市
環境パートナー	NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部
後援(予定)	スポーツ庁、観光庁、山梨県、道志村、静岡県東部地域スポーツ産業振興協議会、山梨日日新聞社・山梨放送、テレビ山梨、エフエム富士、静岡新聞社・静岡放送、テレビ静岡、静岡朝日テレビ、静岡第一テレビ、K-mix
名誉実行委員長	三浦雄一郎(プロスキーヤー・冒険家)
名誉実行委員	実行委員会構成 10 自治体首長(予定)
大会会長	鎬木 毅(一般社団法人富士箱根伊豆トレイルサポート代表理事/プロトレイルランナー)
大会副会長	堀内光一郎 (富士急行株式会社 代表取締役社長)
大会プロデューサー	福田六花(医師)
共同代表	千葉達雄(株式会社ソトエ) 田近義博(リージョンポート合同会社 代表) 黒崎悠(株式会社アールビーズ代表取締役)
アドバイザー	村越真(静岡大学教育学部教授) 中尾益巳(NPO 法人ディスカバー・リアス 代表理事) 三浦務(NPO 法人富士トレイルランナーズ倶楽部 副理事長/事務局長)

<取り扱い注意:関係者以外閲覧・配布禁止>

コンセプト	総距離100マイル(約160キロ)にもおよぶ富士山麓のトレイルと、それに携わる人々と文化をつなぎます。不眠不休で走り続けるレースを通し、自らに挑戦することの大切さとトレイルランニングというスポーツの魅力を広めます。また、比類なき日本の財産である富士山の文化と自然の素晴らしさを、世界中、そして次の世代に伝えていきます。
大会の理念	「自分自身を探究する」 この大会は他の選手に勝つことやスピードを競うことが目的ではありません。富士山を巡る100マイルもの長いトレイルの旅を通じて自らの肉体と精神の可能性を発見し、その限界を広げていくことを目指します。 「自然環境を尊ぶ精神を養う」 日本には古くから自然と共に生きる文化がありました。しかし、現代の人たちはそれを見失いがちではないでしょうか。この大会ではトレイルランニングというアウトドアスポーツを通じ、参加するすべての人が自然との共存を実感し、自然を愛し敬う精神を育むことを目指します。 「すべての人々とトレイルを共有する」 トレイルは、山で暮らし、働き、楽しむ、たくさんの人々の営みから作られたものです。その先人たちに敬意を払うと共に、トレイルを利用するすべての人々とその価値を共有し、お互いを尊重し、世界中の人々と感動を分かち合うことを目指します。
大会コピー	EMOTIONAL DISCOVERY
大会の特長	・100 マイルを超えるトレイルランニングレース。 ・ワールドトレイルメジャーズに加盟し世界中からランナーの集まる国際大会 ・地域の自治体・ボランティアの力強い協力により実現 ・エイドステーション(休憩所)を交流の場とし地域の魅力を伝える ・夏山登山だけでない富士山周辺アウトドアの魅力を世界に伝える ・自然環境に配慮したコース設定と影響調査の実施、競技ルールの徹底

2. 大会日程

①FUJI100mi

・ナンバーカード引換(*1 事前予約制)・必携品チェック

4 月 24 日(水) 13 時～20 時 富士北麓公園(山梨県富士吉田市)

4 月 25 日(木) 9 時～20 時 富士北麓公園(山梨県富士吉田市)

・競技

4 月 25 日(木)

21 時 30 分～0 時 00 分 ドロップバック預け 富士山こどもの国(静岡県富士市)

23 時 30 分 開会式

4 月 26 日(金)

0 時 00 分 第 1 ウエーブスタート 富士山こどもの国(静岡県富士市)

0 時 10 分 第 2 ウエーブスタート 富士山こどもの国(静岡県富士市)

0 時 20 分 第 3 ウエーブスタート 富士山こどもの国(静岡県富士市)

0 時 30 分 第 4 ウエーブスタート 富士山こどもの国(静岡県富士市)

4 月 27 日(土)

18 時 00 分～19 時 00 分 表彰式 富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)

21 時 00 分 最終制限時間 富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)

22 時 00 分 手荷物・ドロップバッグ預かり終了

②KAI70k

・ナンバーカード引換・必携品チェック

4 月 26 日(金) 13 時～20 時 富士北麓公園(山梨県富士吉田市)

・競技

4 月 26 日(金)

22 時 00 分～23 時 00 分 荷物受付 富士北麓公園(山梨県富士吉田市)

23 時 30 分 開会式

4 月 27 日(土)

0 時 00 分 スタート

17 時 00 分～18 時 00 分 表彰式 富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)

21 時 00 分 最終制限時間 富士北麓公園富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市)

22 時 00 分 手荷物・ドロップ預かり終了

＜入賞対象全競技共通＞

① 男子総合 1～10 位、女子総合 1～10 位

② ベテラン(40～49 歳) 男女 1 位～3 位 * 総合入賞した選手は表彰対象外

③ マスター(50～59 歳) 男女 1 位～3 位 * 総合入賞した選手は表彰対象外

④ レジェンド(60 歳以上) 男女 1 位～3 位 * 総合入賞した選手は表彰対象外

＜表彰対象＞

① ニューヒーロー(FUJI100mi、KAI70k の選手のうち 29 歳以下で顕著な成績の選手)

3. イベント・その他

1) Virtual FUJI/KAI 2023

大会連動型トレーニングアプリ「TATTA」を利用して指定期間内で、エントリー種目の距離(累積)で完走を目指すバーチャルランイベント。

開催期間: Virtual FUJI160K 2023 年 10 月 7 日(土)～16 日(月)10 日間

Virtual KAI69K 2023 年 10 月 17 日(火)～22 日(日)6 日間

種目 : Virtual FUJI160K、Virtual KAI69K 2 種目

ルール : 大会連動型トレーニングアプリ「TATTA」でエントリー種目の距離(累積)で完走を目指す。

完走賞 : アプリ内完走証明書、完走ワッペン(実物)、
2024 大会に利用できる出場資格ポイントを FUJI は 3 ポイント、KAI は
1 ポイント付与

エントリー: RUNNET(海外は英語専用サイト) (申込期間)9 月 1 日～9 月 30 日

参加費 : 3,000 円(税込) ※海外は 3,500 円 / 完走賞郵送費込み

その他 : Virtual FUJI/KAI オリジナル T シャツ 希望者購入制(+3,000 円税込)

2) EXPO/RACE VILLAGE

・EXPO

大会スポンサーおよび出展者の関係各社が一同に会する日本最大級のトレイルランニングに関する展示・販売。

・RACE VILLAGE

国内外のマラソンレース・トレイルランニングレース等の主催者が集結。

開催期間 2023 年 4 月 24 日(水) 13:00-20:00

25 日(木) 09:00-20:00

26 日(金) 13:00-20:00 (FUJITOP フィニッシュまで)

会 場 富士北麓公園

4. コース

1) FUJI100mi コース・進行表・エイド箇所(2023 年 10 月12日現在)

距離: 166.6 km 累積標高(+): 7,039 m



スタート:0km	富士山こどもの国(静岡県富士市富士山こどもの国)
F1:25.3km	富士宮(静岡県富士宮市大原学園富士宮ビガー倶楽部)
F2:52.5km	麓(静岡県富士宮市旧朝霧グリーンパーク) * 私的サポート
F3:70.7km	富士河口湖町精進湖(山梨県富士河口湖町旧精進小学校) * 私的サポート
F4:97.4km	富士北麓公園(山梨県富士吉田市富士北麓公園)*ドロップバック/私的サポート
F5:113.0km	忍野(山梨県忍野村忍野村民体育館)
F6:122.5km	山中湖きらら(山梨県山中湖村山中湖きらら)*私的サポート
F7:136.0km	二十曲峠(山梨県忍野村二十曲峠)
F8:147.8km	富士吉田(山梨県富士吉田市明見湖公園)
フィニッシュ:166.6km	富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市北麓公園)

<取り扱い注意:関係者以外閲覧・配布禁止>

2)KAI70k コース・進行表・エイド箇所(2023 年 10 月12日現在)

距離:69.4 km 累積標高(+):3,493 m



スタート:0km	富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市北麓運動公園)
K1:15.8km	忍野(山梨県忍野村忍野村忍野村村民体育館)
K2:25.3km	山中湖きらら(山梨県山中湖村山中湖きらら)
K3:38.8km	二十曲峠(山梨県忍野村二十曲峠)
K4:50.6km.	富士吉田(山梨県富士吉田市明見湖公園)
フィニッシュ:69.4km	富士山の銘水スタジアム(山梨県富士吉田市富士北麓公園)

II. 競技規則(2023 年 10 月12日現在)

基本ルール

- 以下の事項を理解し、責任を負うことを本大会参加の基本条件とします。
- 本大会に参加する選手は、競技中であっても日本国内・自治体の法令、また一般社会正義に基づく活動責任を負います。
- Mt.FUJI100 は山岳地を含む自然の中を一昼夜以上も走り続ける競技です。主催者は選手が予測・制御できないリスクを最小限にとどめるよう準備しますが、レース中の危険を避け、自身の安全を守るのは選手の責任です。そのため、選手は予測されるトラブルや天候の悪化(低温、強風、雨や雪など)に対応できる技術・知識、装備、体力、自己管理能力を備えていることが求められます。その対応の結果には選手自身が責任を負います。また、アウトドアにおいて事故に遭遇した選手の最も近くにいるのは選手です。他の選手の安全を守ることに貢献することが、全ての選手に期待されます。

参考: 山中湖 4 月 25 日気象状況(2016-2020)

山中湖(標高 992m)						
	降水量(mm)		気温(℃)		風速(m/s)	
	平均	最低/最高	平均	最低/最高	平均	最低/最高
0:00	0.3	0/1.0	8.3	2.7/13.8	0.7	0/2.2
3:00	0.4	0/1.5	7.9	0.9/13.6	1.0	0/4.1
6:00	1.7	0/8.5	7.3	-0.3/13.8	1.0	0/4.0
9:00	5.0	0/25.0	13.2	8.5/18.4	1.9	0.2/2.8
12:00	0	0/0	16.2	12.0/19.9	3.0	1.9/3.7
15:00	0	0/0	16.1	11.4/21.8	2.8	1.3/4.4
18:00	0	0/0	13.0	8.7/17.7	1.3	0.5/2.3
21:00	0	0/0	10.1	2.7/16.8	0.4	0.2/1.0

※気象庁のデータを元に作成

※今大会のコースの大部分が標高 500m～1600m の間にあります。気温は 100m 上昇すると 0.6℃下がる と言われています。また、風は 1m 毎に体感温度が 1℃下がると言われています。

4. レースコースはマーキングテープ、指示看板などで誘導されています。さまざまな自然環境の下で誰に頼ることなくこれらをたどり、ルートを維持することは選手の責任です。また、ルートを外れた場合は地図などを使い、自力でルートに戻ることも選手の責任です。ルートを外した場合、緊急事態でない限り、本部の緊急番号に電話をすることは避けてください。その電話は、他の誰かが本当に必要な通話をすることを妨げる可能性があります。

5. レース前、レース中に主催者から提供される公式情報を確認することも選手の責任です、本競技規則に沿ってなされる指示に従ってください。

6. 選手は常に自然環境と、トレイルを共有する他者を尊重してレースを行ってください。

7. 競技が適切に行われるように、主催者は可能な用具・用品の準備、コース整備を行い、必要に応じて各所にスタッフを配置します。また、救助および医療援助体制を準備します。

8. 応急処置を行う救護所はすべてのエイドステーションにあり、医師または看護師が待機しています。ただし、エイドステーションで行うのは応急処置だけです。

1. 参加条件と選手の責任

ここには、主催者が提供する競技の運営環境と参加選手が守るべき事項があります。競技規則に従わないときやこれ

＜取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止＞

らの注意を怠ったときには、その場で失格となったり、レースタイムに 1 時間、3 時間、もしくは 6 時間のペナルティタイムが加算されたりすることがあります。また、次年度からの参加を断ることがあります。

2. 自然保護について

本レースのコースは、富士箱根伊豆国立公園に指定された区域や希少動植物の生息するエリア等を有する貴重な自然環境の中で開催されています。

かけがえのない森林生態系に悪影響及ぼさぬよう、以下のルールを設定しています。

主旨を十分に理解した上で、以下のルールを厳守してください。

1. 全コースにおいてストックの使用を禁止します。また、ストックの代わりとなる木の枝などの使用も禁止します。
2. コース内で仮眠することを禁止します。これは、自然環境に対する影響が大きく、しかも「緊急救護を必要としている」と間違われる可能性があるためです。
3. コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止します。自然保護上必要な箇所には、追い越し禁止その他の制限を設定します。
4. コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などを採取、損傷することを禁止します。
5. ゴミは絶対に捨てないでください。
6. 用便は各エイドステーションのトイレを利用してください。止むを得ないときは携帯トイレを使用し、紙を使った場合は必ず持ち帰ってください。
7. 外来種子の持ち込みを防ぐとともに、居住市街地の植生を高山地帯へ持ち込まないため、事前に靴底を洗浄したシューズを持参してください、またその靴でスタートしてください。同じ理由で、コース途中、数か所の登山口に靴底洗浄用のマットを設置します。スタッフの指示に従って用意されたブラシで靴底の泥や植物種子を落としてください。
8. 大会当日の大会開催に当たって、安全面で問題ない場合でも、トレイルの状況が多数の参加者の利用に耐える事ができないと判断した場合、歩行区間の設定やコースの変更、大会中止の判断をする可能性があります。

3. 他者と地域への配慮について

1. ケガ、病気などで身動きできない選手や大会関係者と遭遇した場合は、その救助を優先し、速やかに救護本部へ連絡してください。救護本部の電話番号はナンバーカードに明記してあります。また、本部連絡の際は可能な限りその選手のナンバーを確認し、それを伝えてください。ナンバーが分からない場合は性別や服装の色などを確認してください。これは本部による対応をスムーズにするためです。
2. コース内で横になっている、あるいはしゃがみ込んでいる選手を見つけたときには、必ず声をかけて体調、症状を確認してください。救護が必要な場合はその作業を優先し、救護本部へ連絡してください。
3. コースは本大会が占有をしているわけではありません。一般利用者（登山者、ハイカーなど）に配慮しその通行を妨げてはいけません。追い越し禁止区間では選手だけでなく、一般利用者を追い越すことも禁止します。また、追い越し禁止区間外でも一般利用者を追い抜く場合は、道幅の広い安全な場所で、速度を落とし、歩いて追い抜いてください。追い抜くとき、すれ違うときには挨拶を忘れないでください。同様の原則は市街地でも適用されます。歩道のある道路では必ず歩道を通行してください。
4. コース上に存在するすべての建造物などに傷をつけないよう注意してください。
5. コースには私有地や自衛隊演習場など、通常は立ち入りが禁止されている特別な区域があります、指定されたコース以外には絶対に立ち入らないでください。
6. コース周辺には居住区域があることを認識し、大きな音をたてたり騒いだりしないでください。熊鈴禁止区間では、熊鈴が鳴らないようにしてください。
7. 感染予防の観点から、可能な範囲で周囲の人と距離を空けてください。林道や道路などで他の競技者との間隔が確保できる場面では、前の人の呼気の影響を避けるため、並走やあるいは斜め後方に位置取ることを奨励します。
8. 感染予防の観点から、競技中に唾や痰を吐かないでください。

4. 誘導、救助及び医療援助について

医師と救護者には、これ以上競技を続けられない選手に競技を中止させる（棄権もしくは失格させる）権限があります。医師もしくは救護者に競技の中止を宣告された際は、IC チップをスタッフに返却してください。その際、ナンバーカードにリタイアだとわかる印をつけることがあります。

5. IC チップについて

- 1.IC チップと地面に敷いた計測マットにより、選手の記録測定、出走人数と完走人数の確認、および各エイドステーションやチェックポイントの通過確認を行います。
- 2.IC チップは両足のシューズそれぞれにひとつずつを装着しなければいけません。
- 3.レースを終了した選手は IC チップをスタッフに提出してください。
- 4.棄権した選手、失格となった選手は IC チップを各エイドステーションのリタイア受付に返却してください。

6. 関門と計測について

- 1.関門ぎりぎりに到着する選手の安全を図るために、関門時刻はエイドステーションの入口と出口のふたつを設けます。それぞれ指定の時刻までに通過(関門に入る・関門を出る)できない場合は失格になります。
- 2.エイド出口を出ても、入口関門時刻前であれば、そのエイドに戻ることができます。エイドに戻るとき、そして再びエイドを出るときには、専用の通路を使って必ずスタッフにその旨を伝えてください。この場合、出口関門時刻前にエイドを出ないと失格になります。
- 3.天候やコースの状況、レースの進行状況によって関門時刻を変更する事があります。その際はエイドステーションの公式掲示板、登録された携帯電話番号へ SMS でお知らせします。

7. コース上の誘導と案内について

- 1.主催者は土地所有者および管理者の許可を得て、必要最低限のマーキングテープや表示看板を設置します。マーキングテープは特に迷いやすい場所を除き、およそ 100m に 1 本の間隔で設置します。マーキングテープが 200m 以上進んでも見当たらないときには、コースを間違えています。来た道に戻ってコースに復帰してください。
- 2.主催者は、選手が予測・制御できないリスクを最小限にとどめるようにコースを準備します。危険箇所には印をつける、ロープを張るなどしてリスクの低減を図っています。選手はそれらの指示に従ってください。主催者が必要と判断した場所にはスタッフやガードマンが立ち、選手の安全を確保するために交通整理をすることがあります、指示に従ってください。
- 3.安全のためにスタッフやガードマンが立ち、選手を誘導している箇所でも、マーキングテープや看板を確認して正しいコースをたどることは選手の責任です。
- 4.追い越し禁止区間、その他の制限を設定する案内が設置された区間ではその指示に従ってください。
- 5.レース開始後に選手に伝えなければならない情報は、エイドステーション、ウォーターステーションの公式掲示板に掲示します。また、特に重要な情報は、登録された携帯電話番号へ SMS でも配信します。エイドステーション、ウォーターステーションで公式掲示板や SMS を確認することは選手の責任です。



誘導看板
(デザイン変更予定)



マーキングテープ
(デザイン変更予定)

8. リタイア(棄権)について

- 1.レースを続ける自信が持てず、レース途中で棄権する場合は、エイドステーション*の計測スタッフにリタイアの申告をしてください。*F7/K3 二十曲峠では原則リタイアはできません。
- 2.コース上でのリタイア
コース上でリタイアできるのは緊急時、またはケガなどにより自力で移動できない場合のみです。救護本部に連絡をし、その指示に従ってください。
- 3.コース上に留まること
自力移動が難しく、なおかつ救護本部への連絡ができない場合、コース上(確実に見える範囲)に留まってください。コース上に留まる限り、スーパードライ等があなたを確実に発見できる確率は大きくなります。それはあなたの安全を守る最後の手段となります。

9. 装備について

装備の総量はスタートのとき、そしていずれのエイドステーションを出るときにも 2 kgを超えていなければなりません。さらにコース上すべての場所において 1 kg以下になってはいけません。

レース途中で必携品のチェックを行います。必携品が欠けていた場合はその場で失格になることがあります。

必携品ウェアの保温性、防水性などのレベルは、選手自身の責任で決定してください。選手自身が選択し届け出たウェアを主催者はその選手の必携ウェアと判断します。

全ての装備は、持つだけでなく使い方を身につけておいてください。

以下は必携品のリストです。

必携品(装備として必ず携行するもの)

1. 詳細コースマップ。大会公式サイトに掲載されている詳細図を紙にプリントしてください。(* 1)
2. エントリーの際に番号を届け出た携帯電話。救護本部の電話番号(ナンバーカードに明記してあります)を登録し、番号非通知にせず十分に充電し、主催者からの SMS による緊急連絡を受けられる状態にしておいてください。
3. 携帯コップ(150cc 以上)。エイドステーションに紙コップの用意はありません。
4. 水。スタートおよび各エイドステーションを出発するときには 1ℓ以上持っていなければいけません。
5. 食料。
6. ライト 2 個、それぞれの予備電池もしくは予備バッテリー。低温では電池の寿命が短くなります。
7. 点滅ライト。夜間の一般公道で後方からの走行車両に認識されやすいよう、ザックなどにつけてください。
8. サバイバルブランケット(130cm 以上×200cm 以上)。
9. ホイッスル。
10. テーピング用テープ(80cm 以上×3cm 以上)。(* 2)
11. 携帯トイレ。(* 3)
12. 雨天に備えてフードつきレインジャケットとレインパンツ。どちらも〈ゴアテックス〉あるいはそれと同等の防水、透湿機能を持ち、縫い目をシームテープで防水加工してあるもの。
13. 保温のためのフリースなどの長袖シャツ。綿素材は認められません。(* 4)
14. 保温のための足首までを覆うズボンあるいはタイツ。または膝までを覆うタイツと膝までを覆うハイソックスの組み合わせ。いずれも綿素材は認められません。(* 5)
15. 保温のための手袋、耳までを隠す帽子。(* 6)
16. ファーストエイドキット(絆創膏、消毒薬など)。
17. 保険証(コピーは不可です)。保険証と紐付けされたマイナンバーカードは必携品として認めます。
18. 配布されるナンバーカード、IC チップ。
19. 以上の必携品と下記にて紹介する「特に勧める携帯品」を収納できるザックまたはバッグ。

* 1 地図データを携帯電話などにダウンロードしておいても、それをマップとして認めないことにしました。電池切れ、通信・表示不良などで使えない可能性があるからです。必ず紙にプリントした詳細図を用意してください。雨天時でも使えるように透明なビニール袋などに入れてください。

* 2 骨折などケガの救急処置のためだけでなく、ザックのストラップなど、装備が壊れたときの補修など、多くの用途にも使える強いテープです。

* 3 使用した場合は次のエイドステーションで未使用のものと交換できます。

* 4 保温のための上半身の衣料は「暖かい空気の層」を作ることができる起毛したミッドウエアと称されるフリースやウール、薄手のダウンなどのことです。薄手のアンダーウェアは認められません。

* 5 保温のための下半身衣料は＝A. 足首までを覆うズボン、B. 同じ足首までを覆うタイツ、C. 丈の短いタイツとハイソックスのことです。

* 6 ウール、ポリエステル製ニットキャップなどのこと。

* 必携品とは最低限の装備のことです。この厳しいレース環境で、二昼夜走り続けることを認識し、自らの安全と健全な体調を確保するために、さらに必要と思われる装備を加えてください。

* コース上で疲労、ケガなどで動けなくなった場合、主催者は連絡を受けてから 3 時間以内に現場に到着できるように活動しますが、要請が多数重なったときや、現場がコースを外れているとき、悪天候のときはその限りではありません。救助隊が到着するまでに 6 時間以上もかかることもあります。寒風や氷雨の中で 6 時間コース上で待機しなければならないことも想定して、装備を選んでください。

特に勧める携帯品について

必携品のリストは、全ての選手にとってこのレースを走るために十分な装備ではありません。各選手の技量や身体能力、当日の気候によって必要な装備は違います。各自必要な装備を見極め、追加して携帯してください。また、事前にそれらを着用して氷点下気温の高山、大雨の中での長時間に及ぶランニングなどを体験し、それらのウェアがほんとうに自分のカラダを守ってくれるのか否かを知っておきましょう。

以下は特に勧める携帯品のリストです

特に勧める携帯品

- 1.トレイルランニングシューズ
- 2.コンパス
- 3.熊鈴（＊１）
- 4.着替え
- 5.日焼け止め
- 6.ワセリン
- 7.筆記用具
- 8.現金
- 9.消毒用の除菌ティッシュやアルコールスプレーなど

＊１ 熊鈴は昼夜を問わず、近隣住民にとって非常に不愉快な騒音です。住宅地は熊鈴禁止区間として「熊鈴禁止」の看板を設置しますので、鳴らないようにしてください。

10. ナンバーカード(ビブ)の取り付けについて

- 1.誤ったナンバーカードの取り付け方をすると、失格になる可能性があります。
- 2.ナンバーカード(ビブ)は上半身前面と背後に、それぞれ１枚ずつ、安全ピンやビブベルトなどを使って、よく見えるように、衣類で隠れないように、つけてください。
- 3.トランクス、タイツ、パンツなど下半身につけることは許されません。
- 4.カードの周囲を折りたたみ、サイズを小さくしてつけることは許されません。



11. ドロップバッグについて(FUJI のみ)

- 1.レース途中の「F4 富士北麓公園」で、スタート前に預けた荷物(ドロップバッグ)を受け取ることができます。
- 2.そこまでの区間で使い終わった用具をドロップバッグに戻すこともできます。
- 3.ドロップバッグは使用の有無を問わず、「F4 富士北麓公園」に設置しています。レース終了後各自で回収してください。

12. その他の遵守事項・禁止事項等

- 1.外部取り込み対応イヤホン以外の使用を禁止します。
- 2.不正行為をすること(乗り物の使用、代走、その他法律、条例に抵触する行為)を禁止します。

13. 主催者の責任と義務

選手の故意ではないコース上の器物破損(対動植物、対物の事故、トレイルの崩壊など)に対して責任を負います。

14.免責事項

大会主催者は本大会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対する一切の責任を負いません。

15. エイドステーションと私的サポートについて

- 1.KAI70k の出場者は私的サポートおよび仮眠所の利用を禁止いたします。
- 2.FUJI100mi の出場者は主催者が定めた場所でのみ私的サポートを行う事ができます。詳細な場所やルールは後日発表いたします。
- 3.エイドステーションは食料や飲料が用意されています。(場所によっては飲料だけのエイドもあります。)
- 4.主催者が用意するエイドステーションの飲食物は、選手自身がそこに行き、選手自身が受け取ってください。感染予防のため、飲食物の取り扱いは必ずエイドスタッフの指示に従ってください。
- 5.飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外(例えばコース上)に捨てることを禁止します。
- 6.火器の使用が制限または禁止されるエイドステーションがあります。
- 7.市街地や別荘地などの居住地域では、地元住民の方々に迷惑ですので応援はご遠慮ください。
- 8.コース上にある自動販売機、店舗の利用は可能です。ただし、故意にコースから外れることは禁止します。

16.ヘルスポリシー

本大会は世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が発行している世界アンチ・ドーピング規程の全てのルールを受け入れ、そのルールに沿って開催されます。

各参加者は次の内容に同意するものとします。

- 1.世界アンチ・ドーピング機構(WADA)が発行している世界アンチ・ドーピング規程の全てのルール(特にアスリートに関する箇所)を受け入れること。

世界アンチ・ドーピング規程-国際基準(公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構)

<https://www.playtruejapan.org/code/>

注意事項、その他レースに関する情報

1. 大会の映像、写真、記事、記録などについて

1. 主催者は選手やサポーターの映像、写真、記事、記録などをテレビ、新聞、雑誌、インターネットなどで公にすることがあります。
2. 大会の映像、写真、記事、記録などは著作権法などで保護されています、主催者の許可なく使用(放送、出版、インターネット配信なども)することはできません。
ただし、選手やサポーター自身が撮影した映像、写真を私的に使用する場合はかまいません。
3. 大会は国際トレイルランニングレース協会(ITRA)及び、の申請を予定しております。大会公式リザルトは ITRA に提出・共有されます。

2. 環境保全について

大会に参加するときは、公共交通機関の利用や 1 台の車に乗り合わせるなどして、エネルギー消費と二酸化炭素排出の抑制にご協力ください。

3. 他者と地域への配慮について

レースを支えてくれる関係者や地元の人々、そしてボランティアに対する感謝の気持ちを忘れないでください。

4. 救助及び医療援助について

1. コース上で救助が必要な場合を想定して、救助スタッフは 3 時間以内に現場に到着できるように待機しています。ただし、救助要請が重なったとき、コースから離れた場所からの救助要請、また救助場所が特定できない場合は、スタッフの到着までに 6 時間以上かかることもあります。
2. 救護本部への電話の中には、緊急でも救助でもなく「関門時刻に間に合わないから車に収容してほしい」=もちろん失格になります、などが多数ありました。いずれもお断りしましたが、このような連絡が増えるほど、救助スタッフは時

<取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止>

間をとられ、電話はつながらなくなり、本当に救助を必要としている人の救助を遅らせてしまいます。救護本部に電話をかけるときには、本当に自分に救助が必要かどうか、もう一度考えてから行ってください。

3. 救護本部に電話をするときは、地図を手元に出して、現場がどこなのか正しく説明できるようにしてください。
4. 詳細図に記載されている地点番号(B05 などの番号)は、現地の看板にも記載されています。救助要請の際にはこの番号を使って現場を説明してください、スタッフもスムーズに対応できます。
5. 主催者が必要だと判断すれば、大会関係者以外の救助隊を呼ぶことがあります。この場合、かかった費用は救助された方の負担となります。
6. 医師またはスタッフが必要と判断すれば病院へ搬送することもあります。その際の医療費は自己負担になります。また、病院からフィニッシュ会場または自宅までの移動は選手自身の判断と責任で行ってください。その費用も選手の負担となります。
7. コース上で車に収容されたなかで、病院搬送の必要がない選手は主催者の判断で近くのエイドステーションに運ばれます。棄権もしくは失格とみなされるので、その計測スタッフにICチップを返却してください。
8. 主催者は賠償責任および選手の傷害保険、大会中止保険に加入していますが、選手のみなさんは保険に入っておくことをおすすめします。
主催者が加入している傷害保険の補償範囲は以下の通りです。

- 死亡、後遺障害:500 万円
- 入院(日額):3,000 円
- 通院(日額):2,000 円

5. コース上の誘導と案内について

1. コース誘導テープや看板は大会直前に設置され、終了後すぐに撤去されます。
2. コースアウトしたときに速やかに復帰できるよう、必携品のコース詳細図を活用してください。
3. 事前に詳細図をよく読み、コースを十分に把握しておいてください。

6. 大会中止・中断・コース変更の基準

下記の理由により主催者が大会の開催、継続が困難であると判断した場合は、大会を中止または中断いたします。大会開催日を翌週などに延期することはありません。

1. 気象警報発令時
2. コース途中の崖崩れ、落石など、選手とスタッフの安全を確保できないと判断されるとき。
3. 災害時。東海地震予知情報/警戒宣言、東海地震注意情報/発令時など。
4. 荒天下などで選手通過によって自然環境を損なう可能性があるとき。
5. その他、主催者が中止すべきだと判断したとき。
6. 大会中止・中断の判断は大会開催日または前日までに大会公式サイトおよび専用サイト(PC、携帯)で発表します。スタート当日に発表する場合は、選手それぞれの登録された携帯電話番号にSMSでも配信します。

7. 大会開催による影響調査について

大会開催前と後にコースの整備、清掃イベントを行う予定です。選手の参加は義務ではありませんが、大会の意義を考え、多くの方に参加していただくことを望みます。

環境活動の内容は以下のアドレスから見るができます。

<http://www.ultratrailmtfuji.com/environmental/activities/>

環境省のガイドラインなどに沿って、大会による自然への影響の調査を継続的に行い、その結果を大会公式サイト内で公表します。

8. 申し込みのキャンセル・変更について

1. 入金手続き完了後は、いかなる理由であっても種目の変更、申し込みのキャンセルはできません。参加費は返金いたしません。

<取り扱い注意:関係者以外閲覧・配布禁止>

- 2.払込期限後に支払手続をされても申し込みは無効となります。この場合、所定の事務手数料を差し引いて返金いたします。
- 3.大会参加の権利を第三者に譲渡することはできません。

9. レース後について

- 1.フィニッシュ会場に休憩所がありますが、多くの方が休憩できるように仮眠は控えてください。
- 2.フィニッシュ、リタイア、失格後の宿泊に困ることがないよう、必ず全日宿泊場所を予約してください。
- 3.レースを中止(失格、棄権)した場合、その場からフィニッシュ会場まで収容バスまたはサポートの車を使って戻ることが出来ます。タクシーなどの費用は自己負担です。
- 4.ドロップバッグは F4 北麓公園に運ばれます。
- 5.ドロップバッグを受け取るにはナンバーカードの提示が必要です。選手はそれまではナンバーカード捨てずに保管してください。

Ⅲ.FUJI100mi 私的サポート 注意事項

本大会は自然環境の保全を積極的に心がけています。以下の事項に従わないとき、事項に基づく主催者の指示に従わないとき、またこれらの注意を怠ったときには、その場で退場を命じられたり、応援する選手が失格となったり、レースタイムに 1 時間、3 時間、もしくは 6 時間のペナルティタイムが加算されたりすることがあります。また、次年度からの参加を断ることがあります。

＜自然環境保護について＞

- ・ コース上では、選手と同じように、コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止します
- ・ コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などを採取、損傷することを禁止します。
- ・ ゴミは絶対に捨てず、持ち帰ってください。
- ・ 用便は各エイドステーションのトイレを利用してください。止むを得ないときは携帯トイレを使用し、必ず持ち帰ってください。
- ・ 大会参加にあたっては、公共交通機関の利用や一台の車に乗り合わせるなどして、エネルギー消費と二酸化炭素排出の抑制にご協力ください。

＜エイドステーションと私的サポートについて＞

- ・ 本大会の私的サポートとは事前申し込み(2024 年 1 月 16 日まで)が必要となります。
- ・ 私的サポートに必要な以下のものは事前に申し込み者に郵送いたします。
 - 1.サポートビブ
 - 2.サポーター用駐車券
 - 3.サポートバッグ
- ・ 私的サポーターの申し込みは1名のサポーターが複数の選手へのサポートも認めます。
- ・ 私的サポートは各エイドステーションの指定区域内でのみ行えます(KAI は私的サポートできません)。私的サポートができるエイドステーションは F2 麓、F3 富士河口湖町精進湖、F4 富士北麓公園、F6 山中湖きららです。
- ・ 私的サポーターが立ち入り、選手をサポートできるのは、定められた私的サポートエリア内だけです。主催が用意するエイドセクションには選手しか入れません。
- ・ 私的サポートエリアに入場し 1 人の選手に対してサポートできる私的サポーターは登録数に関わらず 1 名のみです。複数でのサポート行為を認めた場合はサポートされた選手へのペナルティ(失格・ペナルティタイム加算)を課す可能性があります。
- ・ 主催者が用意するエイドの飲食物は、選手自身がエイドセクションに行き、選手自身が受け取ってください。サポーターは登録数に関わらず 1 名につき主催者が提供するサポートバッグ(70 リットル)1つ以外の用具用品を持ち込んではいけません。
- ・ 主催者は私的サポートエリアに私的サポーター用のトイレ、照明を用意します。なお、屋根のないサポートエリアもあります。雨天に備えて各自雨具等を用意してください。
- ・ 私的サポートエリアは多くのサポーターが共同利用します。選手が到着する長時間前から場所取りをせず、他のサポーターと場所を譲り合ってください。
- ・ 大会本部が当日配信する記録速報サイトなどで選手の到着予想時刻を確認し、およそ 30 分前になったら私的サポートエリアに入って準備してください。
- ・ 選手がエイドステーションから出たら、すみやかに他のサポーターへ場所をあけてください。
- ・ 私的サポーターは主催者が用意する食料や飲料のサービスを受けることはできません。
- ・ 私的サポーターは選手と並走することはできません。
- ・ 私的サポートとして、医療行為は禁止します。
- ・ サポート活動の中で出たゴミは、エイド内に置いていかず必ず持ち帰ってください。
- ・ F6 山中湖きららのエイドステーションでは火気厳禁です。
- ・ F2 麓、F3 富士河口湖町精進湖では直火は使用できません。登山用ガスバーナーのみ使用可能です。
- ・ F3 富士河口湖町精進湖 F4 富士北麓公園 F6 山中湖きららは国立公園内のためテント、タープ、のぼりの設営は禁止です。
- ・ 市街地や別荘地などの居住地域では、音や声を出しての応援はご遠慮ください。地元住民の方々に迷惑となります。

＜取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止＞

- 私的サポートができないエイドステーション（F1 富士宮、F5 忍野、F7 二十曲峠、F8 富士吉田）は車での乗り入れ禁止、応援禁止です。

＜駐車について＞

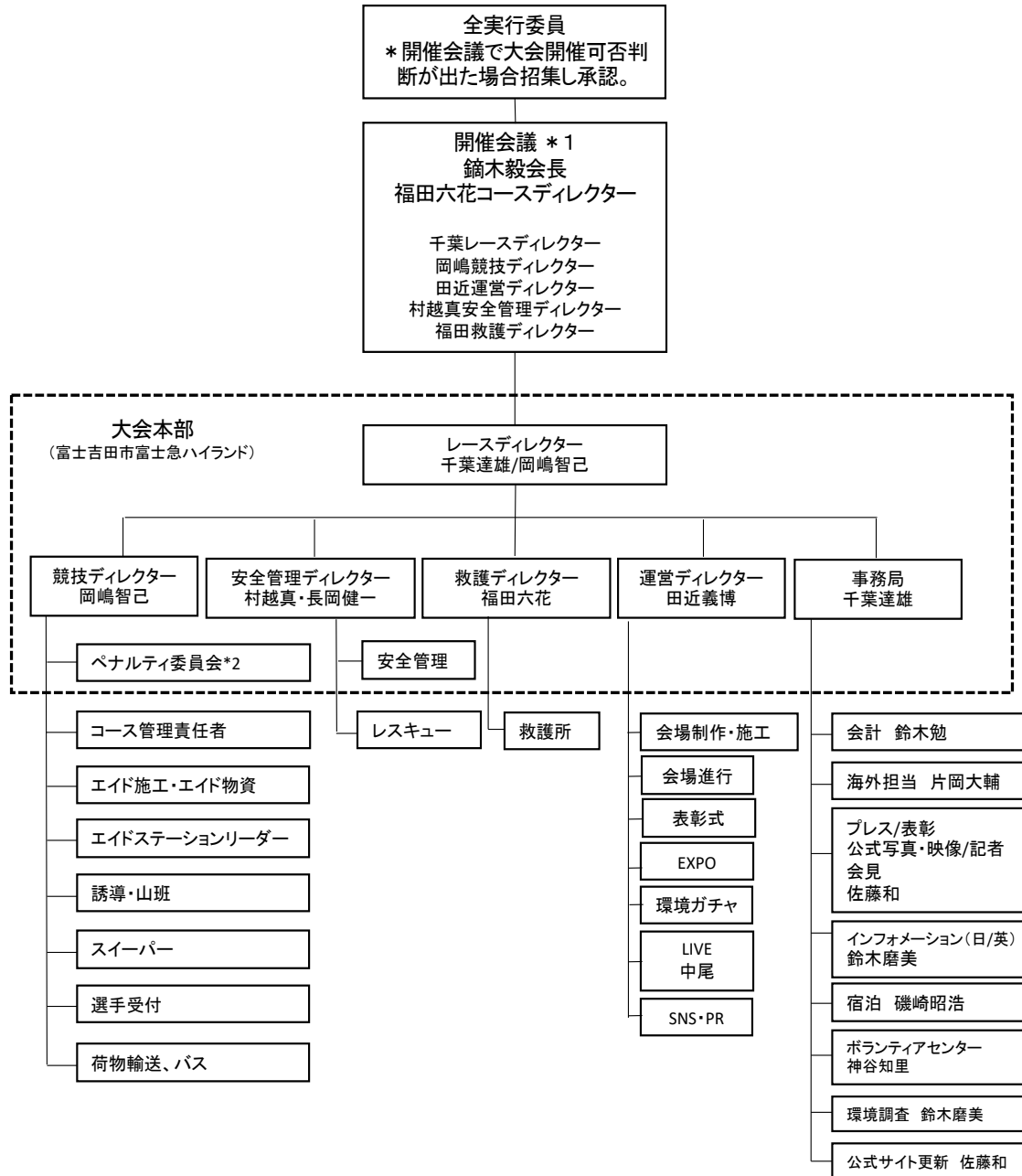
- 違法駐車は近隣住民に大きな迷惑となるので絶対にやめてください。
- フィニッシュ会場である富士北麓公園に車で来る場合は、必ず指定された場所に駐車してください。北麓公園・富士急ハイランド周辺での違法駐車を断じて禁じます。
- 富士山こどもの国は大会専用駐車券が必要です。サポーター1 名につき駐車券 1 枚を事前に発行します。
- 私的サポート可能なエイドステーションにはサポーター専用駐車場を設けています。
- 私的サポートができないエイドステーション（ F1 富士宮、F5 忍野、F7 二十曲峠、F8 富士吉田 ）は車での乗り入れ禁止、応援禁止です。

大会を作り運営するのは大会本部だけでなく、ボランティア、選手、サポーター、応援のみなさんです。マナー、ルールを守り、Mt.FUJI100 を世界に誇れる大会に育ててください。また地元住民・施設の方々のご迷惑にならないよう、ご配慮もお願いいたします。

Ⅳ.安全管理体制及びコースの迂回について

1.組織図について

大会期間中組織図（*予定 表記は 2023 年大会のもの）



*1開催会議

- ・大会開催判断を行う。大会中止の判断が出た場合は全実行委員を招集して臨時実行委員会を開催し最終決定。(委員会開催が難しい場合は全実行委員に承諾・確認を得る)
- 進行会議
- ・競技中の開門延長やコース変更の判断を行う。レース中緊急時は本部千葉もしくは岡嶋レースディレクターのみの専決のみでもできるものとする。

*2ペナルティ委員会

- ・装備品チェックの実施及びその際の失格宣告権限がある機関
- ・ペナルティの宣告と抗議の対応後の正式決定

<取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止>

2.コースについて

・全コースの調査を事前に行い、コースの安全を確かめた上で大会を開催いたします。

コース実地調査者(2023年9月現在予定)

福田六花(大会プロデューサー)

千葉達雄(大会ディレクター兼静岡県側コースディレクター)

磯崎昭浩(静岡県側コース管理責任者)

岡嶋智己(競技ディレクター兼山梨県側コースディレクター)

長岡健一(大会安全管理ディレクター/UIAGM 国際山岳ガイド連盟・国際山岳ガイド)

宮内佐希子(安全管理担当)

・以下の区間に関しては大会開催3日前までに土壌のぬかるみによる歩道への影響がある「または沢からの出水が予想される」と判断した場合迂回コースに変更する。(詳細コースマップ参照)

迂回路①天子山地(天子ヶ岳～長者ヶ岳～熊森山)

迂回路②富士宮市麓・根原地区

迂回路③竜ヶ岳

迂回路④青木ヶ原樹海

迂回路⑤山伏峠付近

迂回路⑥杓子山

迂回路⑦天上山

・参加者に対して事前にコースの気象・天候の特徴を周知します。

※迂回コースは別紙参照

3.エイドステーション・救護体制について

・選手の給水給食休憩の為に、以下の場所にエイドステーションを設置する。エイドステーションには、選手の通過時間帯に医師または看護師、救護スタッフを常駐させる。

※F=FUJI100mi エイドステーション、K=KAJ70k エイドステーション

	名称	市町村	医師・看護師の配置	通過人数(最大)
スタート	富士山こどもの国	富士市	医師・看護師	2,400 名
F1	富士宮	富士宮市	医師・看護師	2,380 名
F2	麓	富士宮市	医師・看護師	2,220 名
F3	精進湖民宿村	富士河口湖町	医師・看護師	2,090 名
F4	富士北麓公園	富士吉田市	医師・看護師	1,890 名
F5/K1	忍野	忍野村	医師・看護師	2,640 名
F6/K2	山中湖きらら	山中湖村	医師・看護師	2,560 名
F7/K3	二十曲峠	忍野村	医師・看護師	2,510 名
F8/K4	富士吉田	富士吉田市	医師・看護師	2,470 名
フィニッシュ	富士山の銘水スタジアム	富士吉田市	医師・看護師	2,470 名

<救護および医療援助の基本体制>

- 1) 競技上のリスクが適切にコントロールされるために、大会実行委員会では可能な限りのコース整備と、救助および医療援助体制を準備する。選手はトレイルランという自然下で行われる競技に危険が伴うことを十分に認識し、傷病、事故などに対して、自己の責任において大会に出場する。
- 2) 応急処置の救護所は基本的にエイドステーションに置かれている。これらの救護所は AED が置かれ大会本部、安全管理本部と無線および電話でつながっている。大会開催中、大会本部・安全管理本部は山梨県富士吉田市に置かれている。

＜取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止＞

- 3) 応急処置は、参加登録の有無に関わらず、本大会に関係するあらゆる人々を危険な状況から救助するために
行う。
※環境やその状況により、援助が到着するまでに時間が長くなる場合がある。
そのような時のため、選手にはファーストエイドキットを装備することが義務づけられている。
- 4) 医師と救護者には、下記の権限がある。
・これ以上競技を続けられない選手に、競技を中止させること。
- 5) レースを中止した場合、その場からフィニッシュ会場まで収容バスまたはサポートの車を使って
戻ることが出来る。タクシーなどを呼ぶ場合の費用は自己負担とする。
- 6) 要救護者にその必要があると判断された場合、救助隊を呼ぶことがある。このような場合にかかった費用は救護
された人が負担する。大会本部に連絡がとれなかった場合、119 など直接救急サービスを呼びだすことを優先して
もよい。
- 7) 大会主催者の加入する選手の事故・傷病への補償をする傷害保険の範囲は以下となる。
・死亡、後遺障害 500 万円
・入院(日額) 3,000 円
・通院(日額) 2,000 円

＜通過人数・行方不明者の特定＞

計測チップにより、出走人数完走人数の管理、および各エイドステーションにて通過チェックを行う。選手の記録とともに氏名の判別もでき、個人を特定することが可能である。また次のポイントへの到着が異常に遅い場合はアラートが発生するシステムを使用する。

＜参加する選手へのルール＞

レース中、自分自身で対応不可能な状況にある他のランナーと遭遇した時、その救助を優先することは選手の義務である。緊急事態の場合、近隣のランナーに積極的に援助を頼んでよい。

＜医療に関して＞

選手に対して的確な医療を提供し走行をサポートする。ただし、体調不良、怪我などで、これ以上のレース継続が困難な選手に対して、医師は当該選手に中止を宣告する権限を有する。

～予想される体調不良と基本的対応方法～

脱水、熱中症	経口水分補給、塩分・糖分の補給、および安静 上記にて回復がみられない場合は必要に応じて点滴施行
低体温症	保温、温かい飲料、安静 上記にて回復がみられない場合は必要に応じて点滴施行
切傷、擦過傷、挫傷	創部消毒(イソジン、クロマイP軟膏)、ガーゼ保護、ワセリン処置
捻挫、筋挫傷、骨折	湿布、コールドスプレー、テーピング、三角巾固定
胃腸障害	胃腸薬・市販薬(備品) 必要に応じて点滴施行
蜂刺症	ポイズンリムーバーによる徐毒、創部消毒、アナフィラキシーショックの場合は救急搬送 四肢の痙攣、こむら返り芍薬甘草湯(備品)

エイドステーションにおける医療処置はあくまで簡易的、応急的なものであり、後日専門医の受診が必要と思われる場合は、当該選手にその説明をする。

可能な限りエイドステーションから走り出す選手の状況観察を行い、その時点での走行が危険と思われる選手を見かけた場合は休憩もしくは中止勧告を行う。

エイドステーションでの対応が困難な場合は、病院搬送(運営車輛、救急車)を行う。

点滴施行した場合には当該選手のレース続行は中止となり、その旨、点滴施行前に選手に説明をする。

V. 自然環境に配慮した持続可能な大会運営のために

I. 行動規範及び配慮事項

1. 持続可能な大会運営のための行動規範

Mt.FUJI100を持続可能な大会として運営していくため、環境に関する行動規範を以下のように定める。

- 世界中のトレイルランニング愛好者に対し、富士山麓地域においてトレイルランニングの持つ魅力を提供する。そのすべては持続可能であり、環境的、文化的に地域と共存しなければならない。
- 運営において妥当な倫理基準を守り、社会的悪影響を最小に抑える。
- 大会コースの使用においては社会的な公正さを確固たるものにしていく。
- コース周辺地域の環境保護と地域活性化の両者を促進するために、環境と地域文化を尊重し細心の注意を払う。
- 再生できない資源の利用をできる限り減らす努力を行う。
- 環境における限界容量を認識し、細心の注意を払って環境を認識し、それを効果的、継続的なモニタリングを行う。
- 大会を通じて直接的、間接的方法で主催者、選手、トレイルランニング愛好者、地域の方々の富士山麓地域の自然環境保護の意識、行動を変えてゆく。

2. コース設定に関する自然環境への基本的な考え方

- 国立公園特別保護地区や第1種特別地域、それに準ずる自然環境を持つ場所は、原則回避する。
- 部分的に特別保護地区や第1種特別地域等を通過する場合においては植生帯への踏み出しや土壌侵食の影響しない箇所に関し部分的に利用する。
- コース設定に関して関係各機関や地域に事前にヒアリングを実施する
- コース設定に際しては「国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて」(2015 環境省)の基準に則って策定する。

3. コース設定の際の配慮事項

- 以下の場所については、コースを設定しないよう配慮する。
 - ① 走行に対して脆弱な場所(湿原、泥濘の箇所、高山植物群落等)
 - ② 保全上重要な自然環境にある場所や、すでに激しい洗掘を受けている場所
 - ③ 崩落や落石の恐れのあるガレ場
- 歩道の複線化や拡幅が懸念される場所についてはコースを外さないよう処置を行う。

4. 大会開催の際の配慮事項

- 他の利用者が多い路線や混雑期を回避する(詳細コース図参照)。
- 開催日時、コース、他の利用者への留意事項等をウェブ等で告知する。
- 歩道はみ出しの懸念がある箇所は、原則追い越し区間として設定する(詳細コース図参照)。
- 選手のシューズ等に付着する外来種の飛来を防ぐため、大会装備品チェック時に汚れた靴については洗浄を実施するほか、コース中トレイルの入り口にはマットを設置する。
- 全区間ストック及びストックの代わりとなる木の枝などの使用を禁止する。
- コースの角をショートカットするなど、トレイルからはずれることを禁止する。
- 自然保護上必要な箇所では、追い越し禁止その他の制限を設定する。
- コース上および全区域で動植物、菌類、岩石などの採取及び損傷を禁止する。
- コース上でのゴミ捨てを禁止する。
- 用便は各エイドステーションのトイレを使用させる。止むを得ないときは携帯トイレを使用させる。携帯トイレを必携品とする。
- 大会終了後にボランティア参加による全コースのゴミ拾いを実施する。

5. その他の配慮事項

- 野鳥の繁殖時期を考慮して大会開催を実施する。
- 大会時雨天時、および土壌のぬかるみが大会3日前に予見または認められる箇所はコースを変更する。

<取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止>

- コース内にはツキノワグマの生息地が含まれる事を認識し、選手・スタッフの安全管理を図る。
- 歩道管理者、土地所有者、関係自治体等と十分な事前調整を行う。
- 必要に応じて専門家から意見を聴取する。

6. モニタリングの実施

- 自然環境等への影響に係るモニタリングを実施する。
- モニタリングにより万一現場の顕著な改変等が見られた場合には、大会主催者が復旧する。

Ⅱ. モニタリング(環境影響モニタリング・利用影響モニタリング)

1. 基本的な考え方

- 当大会のモニタリングは「国立公園内で開催されるトレイルランニング大会等におけるモニタリングの手引き」(平成29年3月 環境省自然環境局国立公園課発表)に基づいて実施する。
- モニタリングには、自然環境・歩道への影響を把握する『環境影響モニタリング』と大会当日の一般利用者への影響を把握する『利用モニタリング』を実施する。
- 環境影響モニタリングとは、対象エリアの状況を大会前後で比較し、変化が自然に起きたものなのか大会によって発生したものかを判断し、大会によって発生した場合、それが許容できる範囲かどうかを評価するものである。
- 利用影響モニタリングでは、大会等による登山者や一般利用者の利用への影響を大会当日のランナーと登山者・一般利用者が混在する地点で観察するとともに、登山者・一般利用者へのヒアリングすることにより把握する。
- 本大会の環境影響モニタリングは、歩道部分の形状の改変の有無と歩道脇へのはみ出しやその植生構造の消失や変化の検証を目的とする。
- モニタリングは長期的に実施することでより有効な評価に繋がる。そのため長期間に渡って継続的なモニタリングを実現できるよう、簡単で費用がかからず、専門家でなくても繰り返し実行できる手法を採用する。
- 大会前にモニタリング計画書を大会後にモニタリング報告書をそれぞれ大会公式サイトにて公表する。

2. モニタリング調査

(ア) 環境影響モニタリング調査

実施場所とその概要を表に示す。

エリア番号	エリア名称	自治体	国立公園等の区分	モニタリング箇所	モニタリング方法※2	選定基準※1	2023年大会で実施	備考
1	天子ヶ岳	富士宮市	第3種特別地域	5	①	b e h j k	○	
2	長者ヶ岳	富士宮市	第3種特別地域	3	①	b f j k	○	
3	熊森山	富士宮市	第3種特別地域	5	①	b c e h	○	
4	根原～端足峠	富士宮市	第3種特別地域	5	①	c d h k	○	
5	竜ヶ岳	身延町・富士河口湖町	第2種特別地域	5	①	c e f		コース変更
6	青木ヶ原樹海	鳴沢村	特別保護地区	10		a	○*	コース変更
7	足和田山-1	富士河口湖町	第2種特別地域	5	①	e f g	○	
8	足和田山-2	富士河口湖町	普通地域	5	①	c f g	○	
9	明神山	山中湖村	普通地域	5	①	e g i j	○	
10	明神山～切通峠	山中湖村	普通地域	5	①	f j k	○	

※1 環境影響モニタリングポイントの選定基準

大会使用コースは、以下の4つの区分に分けられる。

- (1) 登山道・未舗装歩道 人のみの通行を前提にした歩道・登山道（未舗装）。
- (2) 林道・作業道 車両通行可能な林道や歩道（未舗装）
- (3) 送電線遵守路 送電線下の巡視路（未舗装）

＜取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止＞

(4) 道路・舗装歩道 舗装された道路及び林道（舗装された歩道も含む）

上記区分①の中から、以下の基準よりモニタリングポイントを選定した。

- a. やむをえずコースに選定した特別保護地区、第1種特別地域、それに準ずる自然環境を持つ地域
- b. 歩道の幅員が狭い地点（手前の幅員が狭く、急に狭くなる地点）
- c. 路面に泥濘が生じている地点・雨天時にぬかるみが生じやすい地点
- d. 顕著な洗掘が認められる地点
- e. 概ね斜度10度以上がある登りや下り斜面
- f. 下り方向のカーブや緩やかなカーブが連続している地点
- g. 木製等の階段が設置されている地点
- h. 路面上に樹木の根が張り出している箇所
- i. 希少な植物や動物が確認されている箇所
- j. 登山道不明瞭でが踏み外しや複線化が懸念される箇所
- k. 地権者や地域住民・専門家等により得に要望のあった箇所
- l. 岩が多い箇所
- m. 直前に同じ区間で大会等が開催されている地点

※2 モニタリング方法

①計測、写真撮影

- 日時、モニタリング参加者、天候・気温・標高の記録
- モニタリング地点の緯度・経度、幅員、傾斜角度
- 複数の角度からの概況写真撮影

(イ) 利用影響モニタリングの実施場所およびヒアリング事項
実施場所とその概要を表に示す。

エリア名称	自治体	選定基準	2023 年 大会で 実施	備考
鳴沢風穴	鳴沢村	選手はパノラマ台駐車場奥を通過する。樹海エコースやハイキング場所として一般客が多く訪れるため。		コース変更
石割山神社駐車場	山中湖村	選手は通行しないが、付近の石割山や大平山登山の起点となるため登山者の利用が多い。コースとなる石割山・大平山で選手と遭遇した登山者からヒアリングをするため。	○	
明神山パノラマ台	山中湖村	選手はパノラマ台駐車場奥を通過する。富士山の展望場所として一般客が多く訪れるため。	○	
天上山山頂	富士河口湖町	付近の観光施設から山頂へのルートがハイキングコースとして人気があり、多くの一般客の来場が予想されるため。	○	

ヒアリング事項

- ① 性別、年代、都道府県
- ② トレイルランニングを知っているか。
- ③ 本日トレイルランニング大会が開催されることを知っていたか。
- ④ 本日のトレイルランニング大会でランナーと接触しそうな等、何かトラブルがあったのか。
- ⑤ 本日のトレイルランニング大会でランナーや応援者のマナーなどで気になったことがあったか。
- ⑥ トレイルランニング大会を行う場合、気をつけてほしいことはあるか。

＜取り扱い注意：関係者以外閲覧・配布禁止＞

- ⑦ 大会に係る道しるべ（矢印等の進路指示）等により、混乱（分岐点等で自身のルートを惑わせた等）しなかったか。
- ⑧ スタート、ゴール地点等の仮設工作物やトレイルランニング大会の関係者（ランナー含む）が集まっている場所において、通行に支障はでなかったか。

3.調査日程(予定)

- ・環境影響モニタリング 事前調査：2024 年 4 月 4 日（木）～19 日（金）（予備日含む）
- ・環境影響モニタリング 事後調査：2024 年 4 月 26 日（金）～（土）5 月 4 日（土）（予備日含む）
 - * 事後調査に関してはコース通過後なるべく速やかに実施する。
- ・利用影響モニタリング調査：2024 年 4 月 26 日（金）27 日（土）

※参考文献

- ・ 東アジアの自然公園・保護区域における観光事業のガイドライン（2001 国際自然保護連合）
- ・ 国立公園内におけるトレイルランニング大会等の取り扱いについて（2015 環境省）
- ・ 国立公園内で開催されるトレイルランニング大会等におけるモニタリングの手引き（2017 環境省）
- ・ 生物多様性地域戦略策定の手引き（改定版）（2014 環境省自然環境局）
- ・ 提言書（2011 狩猟と環境を考える円卓会議）
- ・ 富士山総合環境保全指針（修正版）（2012. 静岡県）
- ・ ウルトラトレイル・マウントフジ植生保全環境調査概要報告 黒塚・須山口登山歩道編（2015 富士山エコレンジャー連絡会）
- ・ まもりたい静岡県の野生生物-県版レッドデータブック-（静岡県 平成 16 年）
- ・ 山梨県レッドデータブック（山梨県 平成 17 年）